

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針1 心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの推進

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
① 生涯にわたる多様な学習機会の拡充			
1 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■すこやか大学講座の実施 学生310人 8講座開催、クラブ活動の実施 ■社会教育委員会の開催 3回 	<ul style="list-style-type: none"> ■予定事業をすべて実施できた。 	
2 社会教育活用施設管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■社会教育活用施設の管理運営(上宮津地区、由良地区、養老地区、日ヶ谷地区) ・社会教育活用施設利用延日数 合計2,194日 	<ul style="list-style-type: none"> ■各施設とも定期利用者が多く、地域住民の身近な生涯スポーツ施設として定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の老朽化 ■定期的な利用者の固定化
3 公民館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■地区公民館の管理運営 ■各地区公民館事業の実施、支援 ■中央公民館事業の実施：2回 ■市民実践活動センターへの中央公民館指定管理実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■各地区毎に地区住民の学習ニーズ等を踏まえ、ふるさとみやぶ学、講演会、健康づくり、スポーツ大会などを実施することが出来た。 ■公民館事業への参加者数は10,673人と前年度比で10.3%増加し、令和元年度以来の1万人超えに到達した。 ■小学生自然科学講座等において、宮津天橋高校宮津学舎フィールド探究部と連携した事業ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢化及び人口減少に対応した事業内容及び手法等の検討 ■施設の老朽化
4 図書館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市立図書館協議会の開催 2回/年 ■図書館の管理運営 ・地域高校連携事業、市内中学校連携事業 ・インターネット予約等の機能の整備 ■「はまなす文庫」(移動図書館車)の運行 	<ul style="list-style-type: none"> ■図書館利用者の拡大を図るため、中高生向けの図書展示コーナーを充実し、中高生の利用を促進した。また、インターネット予約やリクエスト機能の整備により利便性が向上した。 ■毎月のテーマ図書展示や利用者おすすめ本コーナーの設置により、利用者の本との出会いの場を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■電子図書館、移動図書館車両の更新など、時代に応じた図書館の検討
② 人権教育・啓発の推進			
5 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■聴覚障害者成人講座の実施：1回 参加者14名 ■障害者青年学級の開催 49回/年 学級生延べ149名 	<ul style="list-style-type: none"> ■青年学級を昨年度よりも多く実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■指導者の後継者育成 ■各種事業への参加者(指導者・学級生)の固定化や高齢化
	<ul style="list-style-type: none"> ■人権教育講座の実施、企業人権教育推進協議会への支援 ■人権問題研修会の開催 2回/年 参加者143名 ■人権啓発カレンダーの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ■人権教育講座を市内事業所や地区公民館で実施した。 ■市の広報誌に、人権に関わる記事を毎月掲載することにより市民への人権啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■多様化する人権問題への対応

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針1 心豊かで生きがいのある人生を創造する学びの推進

③ 家庭や地域の教育力の向上				
6	社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■青少年問題協議会研修会の開催 1回/年 参加者60名 ■青少年健全育成事業 子どものびのび体験活動 119回/年 参加者延べ2,510名 (放課後見守り、けん玉大会、陶芸、料理教室等) 小学生自然科学講座 参加者25名 わくわく星座教室 参加者7名 ■中学生の主張大会：来聴者100名 	<ul style="list-style-type: none"> ■青少年健全育成の研修会を通して、自尊感情を育む等について学ぶことができた。 ■乳幼児の家庭や小中学生の保護者向けに家庭教育啓発リーフレットを作成・配布し、子育て時における家庭教育の啓発を図った。 ■中学生が日頃考えていることをまとめ、発表する機会として実施し、市民への中学生の考えを理解する機会とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ■青少年健全育成と家庭教育力向上に資する研修機会等の充実
7	地域学校協働活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■地域学校協働活動推進委員の配置 宮津学院2名 栗田学院2名、北部3小学校4名 ■推進員連絡協議会 会議1回、研修会3回 ■地域学校協働活動の実施 体験活動、学校支援ボランティア 121事業 実施回数 840回 参加者延べ 4,998人 	<ul style="list-style-type: none"> ■各学院・小学校において、学校運営協議会との連携を図り、地域の特色を活かした地域学校協働活動を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校運営協議会を通じた学校と地域の連携を密にした持続可能な取り組み。
④ ふるさとみやづ学の構築				
8	社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■二十歳のつどい：参加者103名 出席率76.9% ■各地区公民館での「ふるさとみやづ学講座」の開催 26講座 延べ2,354人参加 ■すこやか大学講座の開催 歴史訪問の開催 参加者24名 	<ul style="list-style-type: none"> ■市民の生涯にわたるシビックプライドの育成を目的として、宮津や地域の文化や歴史などの「ふるさとみやづ」について学び考えるを講座等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■二十歳のつどいの式典以外の内容について、新たな企画立案の検討が必要。 ■各地区公民館やすこやか大学での「ふるさとみやづ学講座」の継続的な取り組み
9	高校・大学・地域連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■高校大学連携コーディネーター配置 1名 ■高校地域連携コーディネーター配置 1名 ■宮津市内高等学校・宮津市連携推進会議の開催 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ■コーディネーター配置とその指導や助言により、高校生の探究学習の専門的な知見の習得や、地域との関わりを深めることで、高校生自らが設定した課題に対する実践活動の充実を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■高校生の総合的な探究の時間において、様々な課題テーマを通じた地域との関わりを更に充実させる必要がある。
【総括】		<p>○生涯にわたる多様な学習機会の拡充 公民館やすこやか大学などの取り組みを通じて、各種生涯学習事業を積極的に展開した結果、各種講座数や参加者数が増加し、生涯にわたる多様な学習機会を提供することができた。</p> <p>○人権教育・啓発の推進 「宮津市人権教育・啓発推進計画(第2次)」の趣旨を踏まえ、人権の理念や様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるための取組を計画的に実施することができた。引き続き、地域、事業所、学校等の様々な機会を通じて、複雑な現代社会の多種多様な人権問題に対応するための、人権教育や啓発を進めていく必要がある。</p> <p>○家庭や地域の教育力の向上 公民館における小中学生向けの様々な取り組みや、学校運営協議会における地域学校協働活動などの各種事業や、青少年健全育成の研修会や各家庭への啓発機会を通じて、家庭や地域の教育力の向上を図ることができた。今後も更なる向上を図る取り組みの拡充に努めていく。</p> <p>○ふるさとみやづ学の普及・推進 各地区公民館事業、すこやか大学の講座等の多様な事業を実施することで、ふるさと宮津への理解と愛着を深めることができた。また、新たに高校と地域や大学が連携し、地域の様々な課題解決の学習を深めることで、宮津を担う人材育成に取り組んだ。引き続き、ふるさとみやづ学による地域づくりや人材づくりの取り組みを推進していく必要がある。</p>		

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
① 質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実			
1 教育委員会活動費／教育委員会事務局経費	<ul style="list-style-type: none"> ■教育委員会：14回／年 ■総合教育会議：1回／年 ■教育研究協議会：5回／年 	<ul style="list-style-type: none"> ■総合教育会議における教育振興計画の進捗状況等の確認 ■教育委員会事務事業点検評価の実施 	
2 認定こども園運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津暁星幼稚園の運営体制の拡充 ■施設型給付費：1号認定：10人（延べ138人）、2号認定：22人（延べ210人）※年度末人数 ■副食費独自減免に係る補助：対象者1名 	<ul style="list-style-type: none"> ■R6～幼稚園型認定こども園へ移行に伴い運営体制の拡充・開園日、開園時間の増、給食提供日の増 ■保護者の就労ニーズに応じた保育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設・遊具の老朽化 ■未就園児の一時預かり・2号認定の短時間認定の延長保育に対応する専属の保育士の確保
3 幼稚園・小学校・中学校管理・教育振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園2園、小学校5校、中学校2校 ■小規模校における児童のより良い教育環境の確保 ■特別支援教育支援員配置(小11人・中2人) ■漢字検定料(小215人)、英語検定料補助(中156人) ■栗田小学校トイレ様式化 	<p>【R7目標】全国学力・学習状況調査における教科に関する調査の平均正答率：常に全国平均と京都府平均を上回る状況にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ■公立幼稚園入園児数：38名 (R5:38名) ■通常学級に在籍する要配慮児童等への教育支援充実 ■全国学力・学習状況調査の正答率： <p>R6 市(全国・京都府)</p> <p>小6 国語 67.0(67.7・70.0) 中3 国語 60.0(58.1・59.0) 算数 64.0(63.4・67.0) 数学 53.0(52.5・53.0) 英語 46.0(45.6・47.0)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小学校トイレ様式化 52.7%→70.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ■より良い教育環境を確保するため、学校再編を引き続き協議していく必要がある ■児童生徒の学力向上に向けて、引き続き、対策の強化を図る必要がある ■学校施設の将来にわたる設置方針を検討する必要がある ■幼稚園、保育所(園)等就学前施設の設置方針を検討する必要がある
4 スクールバス運行・購入事業／遠距離通学児童・生徒援助事業	<ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒の安全確保のためスクールバス(9路線)の運行 ■R4.4月～上宮津線1路線について福祉有償運送を活用 ■R6.4月～養老小再編により、専用スクールバスを購入・運行 ■公共交通機関利用児童生徒への遠距離通学費補助金支給 	<ul style="list-style-type: none"> ■遠距離通学する児童生徒の通学時の安全確保が図られた ■生活交通の確保が図られた 	<ul style="list-style-type: none"> ■遠距離通学する児童生徒の安全な通学手段の確保等を図るため、引き続きスクールバス運行に努める
5 就学児童・生徒援助事業	<ul style="list-style-type: none"> ■新入学学用品費の入学前支給の実施 ■R4～家庭学習に係るオンライン通信費の支給を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ■就学援助により経済的理由による非就学児童生徒は発生していない 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの貧困対策の一環として、事業の継続的な実施が必要である
6 宮津の新たな学び創造事業	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市教育フォーラムの開催 ■学習における基礎・基本の徹底に向けた対応 ・算数学び定着サポーター兼ICT支援員の配置 ・社会科デジタル副読本「わたしたちのまち宮津市 新訂版(第八版)」の作成、Web対応版作成 ■論理的思考力や表現力の育成 ・コミュニケーション教育の推進 ・語学力向上に向けた取組み ■学びの深化プロジェクト研修チーム (TEAM GLAPAGOS) による実践研究及び波及 ■家庭学習用モバイルルーター貸出 ■AIドリル等を活用した個別最適な学びの実施、プログラミングソフト等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津市教育フォーラムの開催 ・開催日：令和6年12月7日(土)参加者：約130名 ・実践報告 ・スピーチ&トーク「私の今、そしてこれから」 ■小中一貫教育と合わせて取組む学力向上プランに基づく実践 ■宮津市版教科・領域等カリキュラムに基づいた指導 ■1人1台タブレット端末を活用した学習意欲の喚起と個別最適な学びの実現に向けた授業改善 ■ICTを活用した新たな学びと協働的な学びの構築、家庭での予習学習・反転学習への活用 ■「ふるさとみやづ学」において副読本「わたしたちのまち宮津市(新訂版)」の活用及びWeb版作成、HPでの公開 ■コミュニケーション教育の推進 ・宮津学院 	<ul style="list-style-type: none"> ■推進基本計画及び学力向上プラン、教科・領域等カリキュラムに基づく認知能力・非認知能力を一体的に育む教科指導等のさらなる充実が必要 ■研究指定事業等の成果について学校間で共有し横に展開 ■ICT活用方法の検討・実証、家庭での予習学習・反転学習への活用
7 英語指導事業	<ul style="list-style-type: none"> ■英語指導助手配置(小学校)：1名 ■英語指導助手配置(中学校)：1名 	<ul style="list-style-type: none"> ■全幼稚園・保育所等への共通した国際理解教育の提供 ■英語指導助手の生の英語授業による児童生徒のリスニング能力の向上、外国人とのコミュニケーション能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ■外国人観光客対応も含め、市民全体の国際理解強化を図る必要がある ■英語活動、英語科の指導の充実に向けて、教員の英語力向上を図る必要がある

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
8 学校給食運営事業/物価高騰下での給食費高騰対策支援	<ul style="list-style-type: none"> ■幼稚園給食の開始 ■民間委託によるセンター方式給食の実施 ■宮津市学校給食委員会の開催 ■センター方式を導入した学校の給食費の公会計による管理 ■学校給食食材調達登録制度の運用と食育の推進 ■物価高騰に伴う保護者負担軽減のため、センター方式給食の公立幼稚園・小・中学校への支援及び自校給食実施校への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■中学校給食及び民間委託によるセンター方式給食の継続実施(小学校4校、中学校2校、幼稚園2園) ■物価高騰に伴い、値上げを行った幼稚園、小中学校の給食費の値上必要額(保護者負担額)の全額を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■平成30年度から一部公会計化した学校給食費保護者負担金の債権管理
<h3>② 夢・志・豊かな感性を持った人づくり</h3>			
9 不登校児童生徒支援事業 (こころのまど・ひろば運営事業、校内フリースクール運営事業)	<p>(こころのまど・ひろば運営事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■教育相談室「こころのまど」 ・相談件数 来室31件、電話100件、訪問49件 ■適応指導教室「こころのひろば」 ・児童生徒支援 通室139回 ・卒業生支援 来室12回 ・保護者等支援 面談等154回、家庭訪問17回 ・学校訪問 会議等144回 ■宮津市適応指導教室等通室費補助金 ・1件：34,738円 	<ul style="list-style-type: none"> ■「こころのまど」において、子どもや保護者、幼稚園や小中学校の教職員等の教育相談に応じ、問題解決に向けて支援を行った。 ■不登校及び不登校傾向にある児童生徒を対象に適応指導教室「こころのひろば」を継続実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■不登校児童生徒の学校復帰、進路実現及び社会的自立に向けた継続的な取組が必要 ■放課後から夜間の時間帯を中心に、学校間・校種間(小中学校)を問わず、貧困、不登校、虐待など、家庭環境・学習環境等に様々な課題を抱える児童生徒が、学習・食事・入浴等の活動を通して、生活習慣・学習習慣を身に付けて、将来の自立につながる居場所を確保する。
10	<p>(校内フリースクール運営事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■校内フリースクール(宮津中学校)利用実績 ・実利用人数：13人 ・延べ利用人数：1,039人 ・対前年度比延べ欠席日数：△246日 ■校内フリースクール事業費 ・事業費3,632,602円 	<ul style="list-style-type: none"> ■支援員を配置し、不登校生徒の新たな学びの場として、生徒のサポートを行った。 ・フリースクールの存在が安定した登校に結びつき、教室の授業にも入っていた。 ・2学期の後半から3年生を中心に教室を居場所に戻った生徒が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■不登校児童生徒の学校復帰、進路実現及び社会的自立に向けた、学校全体での継続的な取組が必要 ■不登校・不登校傾向の児童生徒が増えている中、個々の状況に対応しながら、学習や生活面のサポートに対応する、専門性のある支援員等の確保が必要
11	<p>いじめ防止対策推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> ■いじめの認知件数(小208件・中38件) 解消：小110件・中22件／解消に向け取組中：小98件・中10件 	<ul style="list-style-type: none"> ■いじめの未然防止や早期発見・早期対応のための継続的な取組が必要

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針2 明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
③ 地域と一体となった学校づくり			
12 地域と学校の連携・協働推進事業	<p>■宮津学院 学校運営協議会 8回 マラソン大会安全監視ボランティア、米作り体験 そろばん・ミンシ・書初めの学習支援、昔遊び体験 地域探検案内、歴史・くらしの文化学習</p> <p>■栗田学院 学校運営協議会8回 図書室環境整備、避難訓練、田植え・稲刈り体験 読書ボランティアによる読み聞かせ、 海での水泳指導、着付け教室、ミンシ学習支援 校庭除草・浜掃除作業</p> <p>■吉津小学校 学校運営協議会8回 農業支援、下校付き添い、飛び出し坊や作成・設置 グラウンドゴルフ体験、教職員との懇談 学習支援(総合、社会、家庭科)</p> <p>■府中小学校 学校運営協議会 7回 読み聞かせボランティア、登下校見守り 地区運動会での「天橋立音頭」、あいさつ運動 草刈ボランティア、サツマイモ掘り体験 田植え・稲刈り体験、花いっぱい運動</p> <p>■日置小学校 学校運営協議会 6回 地域探検、七夕市参加、教職員との懇談、昔遊び 農作物収穫等体験(こんにゃく・オリーブ収穫・ 味噌づくりほか)、青嵐荘との交流</p>	<p>■定期的に学校運営協議会が開催されることで、学校(教職員)と地域(協議会委員)の間で意見交換が行われ、また、授業参観や学校行事、取組等で学校に足を運ぶ機会を通じて、児童生徒に接することで、学校運営へ地域が関わる意識が高まった。</p>	<p>■学校運営協議会における学校(教職員)と地域(協議会委員)の密な議論や連携が必要。</p>

【総括】	<p>○質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学力向上プラン」、「宮津市版教科・領域等カリキュラム」に基づいて、基本方針の具体化と教育施策の明確化、各教科の指導内容の共有化を図るとともに、論理的思考力や表現力の育成のためのコミュニケーション教育の推進など、認知能力・非認知能力を一体的に育む先進的・効果的な事例による質の向上を図ることができた。 ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現する先進的・効果的な取組を推進することができた。 学校給食運営事業では、食育の推進及び平成30年度2学期からの中学校給食とセンター方式給食等の継続的な運用を行った。また、幼稚園給食は、令和3年度1学期から実施できた。さらに、急激な物価高騰により給食食材が高騰する中、給食費の値上げを行った公立幼稚園、小中学校の値上必要額(保護者負担額)の全額支援を行った。 就学児童生徒援助事業では、新入学児童生徒学用品費の入学前支給を継続し、児童生徒の保護者の経済的負担の軽減をさらに拡充することができた。 より良い教育環境の整備のため、養老小学校と府中小学校を再編することに関して、保護者及び地域との協議を進め、令和6年4月に再編することを決定した。 <p>○夢・志・豊かな感性を持った人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育相談室「こころのまど」、適応指導教室「こころのひろば」を開設し、児童生徒及び保護者等の相談にきめ細かく対応するとともに、近年、増加傾向にある不登校児童生徒の自主性や学習意欲を高め、学校復帰に向かえるよう活動を行うとともに、保護者への支援及び学校との連携を行った。 宮津中学校に設置した校内フリースクールにおいて、支援員を配置し、不登校生徒の新たな学びの場を確保し、生徒のサポートを行った。 教育相談会・教育支援委員会による就学支援を実施し、小中学校の特別支援教育支援体制の充実を図るとともに、全幼稚園・保育所(園)・小中学校における教育支援計画の作成を行い、支援を必要とする子どものニーズに応じた教育、支援を実施した。 <p>○地域と一体となった学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学区において、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が定期的に開催され、地域(委員)から様々な意見が出される中で、地域と学校の連携が図られた。また、地域の特色ある地域学校協働活動を展開したことで、児童生徒の学びが深まり、住民交流を通じて地域活動の活性化につながった。
-------------	---

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針4 豊かな歴史文化の継承・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
① 歴史文化資源の調査・価値づけ・保存			
1 文化財保護・活用推進事業	<p>■文化財保護審議会(2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財候補物件の選定・審議等 ・宮津市指定文化財候補の調査【新規】 <p>■市内新指定等文化財(R6年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①宮津市指定文化財 2件 ②京都府暫定登録文化財 1件 <p>■両丹文化財保護連絡協議会(11/25 於:福知山市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演「被災した民俗文化財資料における復旧対応について」 両丹地域の審議会委員、担当者(約50名) <p>■文化財説明板の設置・更新(新設1件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「阿弥陀如来像と七条仏師・康清(如意寺)」(宇由良) <p>■市内文化財保全事業(所有者実施) 17件</p> <ul style="list-style-type: none"> ①国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 1件 ②国指定文化財等維持管理費補助金 2件 ③文化芸術振興費補助金(文化庁) 6件 ④京都府指定・登録文化財等補助金 3件 ⑤京都府指定・登録文化財等維持管理費補助金 1件 ⑥京都府社寺等文化資料保全補助金 4件 <p>■文化財保存活用地域計画推進協議会の設置と開催【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域計画」の推進のため、新たな協議会を設置 ・協議会の開催(1回) 計画の進捗と確認と情報共有 <p>■重要文化財 旧三上家住宅の耐震診断調査の実施(R7まで)【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の活用を見据えて、建物の保存管理に向けた耐震診断調査 <p>■子ども学芸員養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月から8月(全4回) 参加者:4名 ・宮津市歴史資料館の特別開館 <p>■宮津市歴史資料館の特別開館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産北前船フォーラムにあわせて企画展示を実施 ・企画展「宮津城下町と北前船」10月20日～11月24日(来館者:448名) ・パンフレット「北前船と宮津 由良」作成 <p>■文化財保護担当職員による講師派遣(22回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座等(一般) 14回 ・出前講座等(学校) 8回 <p>■「みやづ歴史紀行」の連載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報みやづ(月1回発行)に継続して連載 <p>■文化財多言語解説コンテンツの作成【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁の補助を受け、宮津市文化財活用協議会が実施 ・旧三上家住宅、カトリック教会、清輝楼、茶六本館を対象として多言語解説、デジタルマップを作成 	<p>■新指定文化財</p> <p>新規事業として、宮津市指定文化財候補の調査を実施し、宮津市指定文化財の指定について体制を強化。2件を新規指定。</p> <p>■文化財の保全事業</p> <p>所有者が行う文化財の修理事業のコーディネートを実施。府と連携し、多くの市内の貴重な文化資料の保全を図ることができた。国の文化芸術振興費補助金を活用し、地域の伝統行事の保全に取り組むことができた(6件)。</p> <p>■文化財保存活用地域計画の推進</p> <p>文化庁の認定を受けた「宮津市文化財保存活用地域計画」の推進にあたり、新たに「宮津市文化財保存活用地域計画推進協議会」を設置し、計画推進の体制を整備した。</p> <p>■重要文化財 旧三上家住宅の耐震診断調査</p> <p>新規事業として、建物の保存・活用を見据えて耐震診断調査を実施(R7まで)。</p> <p>■普及啓発事業の推進</p> <p>「子ども学芸員養成講座」を継続的に開催するとともに、日本遺産北前船のフォーラムにあわせ、休館中の宮津市歴史資料館の企画展を実施した。また、宮津地区の文化財を対象として、多言語解説コンテンツを整備した。</p>	<p>R5年12月に文化庁の認定を受けた「地域計画」に基づき、関連部局と連携を深めながら、計画的な事業の実施を推進する。</p> <p>■未指定文化財の調査と価値づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財の指定の推進 ・府指定・暫定登録文化財制度の活用 ・国指定・登録文化財制度の活用 <p>■文化財の保全事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国府等の補助制度を活用した文化財修理事業の推進 ・市独自の文化財保全事業補助制度の構築(※市指定文化財修理に対する補助制度など) <p>■文化財保護に係る普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさとみやづ学」の推進(学校教育、社会教育等との連携強化) ・デジタル技術を活用した情報発信(文化財DB、デジタルマップ等) <p>■文化財保存・活用の総合的な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域計画」に基づき、まちづくり(観光等)、人づくり(教育)に貢献 ・宮津市文化財保存活用地域計画推進協議会による計画の推進
2 市内遺跡発掘調査事業	<p>■安国寺遺跡発掘調査(28年度からの継続事業)</p> <p>市内の重要遺跡を対象として、遺跡の保存・活用を図る目的で継続的に範囲内容確認調査を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹後府中遺跡群発掘調査委員会(1回、現地指導1回) ・発掘調査(126㎡)、整理作業 ・現地説明会の開催 <p>■開発行為の調整と工事立会</p> <p>市内遺跡の保存・活用を図るため、埋蔵文化財包蔵地内において開発行為の調整を図るとともに、必要に応じて試掘調査、工事立会を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護法第93条に基づく届出 6件 ・文化財保護法第94条に基づく届出 4件 ・試掘調査 1件 工事立会 9件 	<p>■安国寺遺跡発掘調査</p> <p>古代国府、中世の安国寺に関する遺構の検出を視野に、重要遺跡の範囲内容確認調査として平成28年度から継続して実施中。令和6年度は、古代の柱跡(一辺約1m、方形)を7基検出。国府など古代官衙に関連する可能性が高まった。また、現地説明会を開催したほか、府中をよくする地域会議と連携して現地見学会を行った。</p>	<p>■安国寺遺跡発掘調査</p> <p>遺跡の範囲や遺構、文化層の深度を把握し、今後の開発に備えるため、年次計画に基づき系統的な調査を継続し、遺跡の保全措置を講じる必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査報告書の作成 ・遺跡の価値の証明と保全に関する措置の検討 ・調査成果の普及啓発と活用 <p>■増大する民間開発(主に宅地造成)に対する対応</p> <p>■国史跡「成相寺旧境内」の保全活用</p>
3 重要文化的景観保護推進事業	<p>■宮津地区の追加選定</p> <p>宮津地区の追加選定に向け、保存計画の作成や普及啓発事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮津市文化的景観検討委員会(2回) ・保存計画策定支援委託業務 ・文化的景観フォーラム 3月16日(参加者:30名) <p>■重要な構成要素(府中、文珠地区)の整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溝尻舟屋の整備事業を実施 ・完成後、文化的景観フォーラムで現地見学会を実施 	<p>■宮津地区の追加選定</p> <p>保存計画の作成を進めるとともに、文化的景観フォーラムを開催し、普及啓発と気運醸成を図った。</p> <p>■重要な構成要素(府中、文珠地区)の整備</p> <p>溝尻舟屋の整備事業を実施し、その成果を文化的景観フォーラムの現地見学会で公開した。</p>	<p>■宮津地区の追加選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存管理計画の策定 ・地域同意を得るための普及啓発活動、説明会等の開催 ・文化庁への選定申出、景観計画変更等 <p>■計画的な整備事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な構成要素の整備事業の推進 ・景観まちづくりとの連携

教育委員会事務事業総括書

(様式1)

基本方針4 豊かな歴史文化の継承・活用

主要事業	事業実績	成果	課題・検証
② 歴史文化を学び親しむ機会の創出			
4 世界遺産登録推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ■調査研究事業 京都府が事務局を務める「天橋立世界遺産登録推進会議」に協力し、OUV（顕著な普遍的価値）の構築に向け調査研究を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・専門委員会 2回 ・ワーキンググループ 5回 ・文化庁協議 2回 ・天橋立国際オンライン・カンファレンス 2月26日 ■天橋立を世界遺産にする会への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・天橋立世界遺産講座（全2回／参加者：92名） ・天橋立ネイチャー講座（10月／講演会：15名、現地ウォーク：7名） ・パネル展示「天橋立と世界遺産」展 10月～11月／重要文化財 京都府庁旧本館 ・天橋立一斉清掃アフターウォーク（4月、12月／参加者：15名） ・PRグッズの作成（ポスター、クリアファイル、バッジ、ステッカー） 	<ul style="list-style-type: none"> ■調査研究事業 京都府、天橋立世界遺産登録推進会議と連携してOUV（顕著な普遍的価値）の原案を作成し、国際オンライン・カンファレンスにおいて海外の有識者から一定の評価を得た。 ■天橋立を世界遺産にする会への支援 地元や京都市内において普及啓発事業を行うとともに、PRグッズを作成し、情報発信のコンテンツが充実した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ユネスコに提出する推薦書（案）の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・事前評価申請書、推薦書（案）の作成 ・比較研究の推進 ・保護体制の構築、強化 ■世界遺産登録に向けての機運醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・天橋立を世界遺産にする会への活動支援 ・府、近隣他市町、他機関との連携協力の推進
5 重要文化財旧三上家住宅管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者による管理運営の実施（建物公開） <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 NPO法人 天橋作事組 ・観覧者数 2,471人（R5年度：2,287人） ■観光コンテンツ化による賑わいづくり <ul style="list-style-type: none"> ・文化観光プログラムの開発支援（モニターツアー、体験事業の開発） ・夜間ライトアップ及びイベント開催（夜間音楽イベント9回） ・京都府主催のプロムナードコンサート ・宮津おどり振興会による踊り披露、体験（8回） ・庭座敷を活用した夜間宴席の実施 ・丹後大震災パネル展 	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者によるユニークメニュー活用の推進。 夜間イベントの定期的開催や、Cafeの運営、夜間宴席など新たな施設の活用について軌道に乗りつつある。また、利用料金外の自主事業収入もあり収益性の向上につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■文化財建造物としての適切な保全管理 <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な管理運営を行えるシステムの構築（収益性向上など） ・建物の耐震診断の結果や、保存活用の方針を踏まえた大規模修理の検討
6 みやづ歴史の館管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者による管理運営の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者 公益財団法人宮津市民実践活動センター ・文化ホール利用者人数 10,695人（R5年度：10,729人） 	<ul style="list-style-type: none"> ■市内の文化活動の拠点施設として、講演会、発表会、公演など、様々な催しが実施された。 	
7 みやづ歴史の館整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ■みやづ歴史の館エレベーター（1号機、2号機）機能維持工事 <ul style="list-style-type: none"> ・かご操作盤内制御基板、停電時自動着床装置用バッテリー等の更新 	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の管理上優先度の高い設備の更新を行い、施設利用者の安全確保に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■経年劣化した設備等の計画的更新

【総括】	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保護・活用推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「文化財保存活用地域計画推進協議会」を新設し、計画推進に向けた体制を整備した。 ・子ども学芸員養成講座を継続して行うとともに、宮津市歴史資料館の企画展示を開催し普及啓発事業を強化した。 ・「ふるさとみやづ学」の定着や拡大を推進し、出前講座など職員派遣の実績が増加した。 ・重要文化財旧三上家住宅の保存・活用のため、耐震診断調査を実施した。 ○市内遺跡発掘調査事業 <ul style="list-style-type: none"> ・安国寺遺跡発掘調査について、年次的に調査事業を実施。国衙に関連する柱跡の検出など大きな成果をえた。 ・安国寺遺跡以外の市内遺跡についても、発掘調査を計画的・継続的に実施し、遺跡の内容や特質、価値を明らかにし、保全活用に資する資料を蓄積していきたい。 ○重要文化的景観保護推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・宮津地区の追加選定に向け、保存計画の作成を進めるとともに、フォーラムを開催し地域住民への普及啓発に努めた。 ・重要文化的景観の選定地区において、重要な構成要素である溝尻舟屋の整備事業を実施した。 ○世界遺産登録推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府と連携して調査研究事業を進め、OUV（顕著な普遍的価値）の原案を作成した。 ○旧三上家住宅管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> ・R3年度実施の環境整備を土台として、指定管理者による夜間イベントの定期的開催や、Cafeの運営など、観覧のみでない新たな施設の利活用について軌道に乗りつつある。また利用料金外の自主事業収入もあり、収益性の向上につながることができた。
-------------	--